

2020年6月12日

公益社団法人日本印刷技術協会

印刷会社のテレワークに関する実態調査を実施 公益的観点から会員誌「JAGAT info」6月号を一般販売

公益社団法人日本印刷技術協会（略称：JAGAT、本社：東京都杉並区、会長：塚田司郎）は、「印刷会社のテレワーク取り組み実態調査 2020」を実施、実態の把握に努め、結果を分析しました。速報を2度にわたって回答企業へフィードバックしたほか、詳細は2020年6月15日発行予定の会員誌『JAGAT info』2020年6月号（通巻586号）で19頁（関連2頁、計21頁）にわたり掲載します。なお『JAGAT info』は会員限定誌ですが、要望多数につき公益的観点から、コロナショック対応を特集した5月号に続き、6月号を6月15日から一般発売します。

■ 結果概要

調査回答企業のうち、印刷会社のテレワーク実施率は企業数ベースで80.5%と全体の8割を超えた。一方、従業員数ベースの実施率は22.3%にとどまった。部門別の実施率は営業部72.5%、製造部（生産）13.6%と、部門間に大きな格差のあることが明らかになった。テレワークツールの導入率は、オンライン会議が70.5%、リモートアクセス59.7%などであった。テレワークの開始時期は、2020年3月以降が81.3%を占め、今回のコロナ禍を機に慌ただしく実施された様子が浮かび上がった。それにも関わらず、テレワークに満足と回答した割合は24.6%と、不満足20.0%をやや上回る。満足グループと不満足グループに分けると、従業員視点を重視して事前準備をし、オンライン会議システムなどのコミュニケーションツールを駆使できたかどうかで成否を分けた可能性が浮かび上がった。

■ 調査概要

調査名：印刷会社のテレワーク取り組み実態調査 2020

調査期間：2020年4月21日～5月19日

調査対象：全国のJAGAT会員印刷会社82社

調査方法：FAXによる記入式

調査内容：(1) テレワークの実施状況、(2) テレワークの評価、(3) テレワークツールの利用度、
(4) コロナ終息後のテレワークに対する見方、を大項目とする詳細14設問

実施主体：公益社団法人日本印刷技術協会（JAGAT）研究調査部

■ 発売概要

タイトル：会員誌「JAGAT info」2020年6月号

発売日：2020年6月15日（月）

価格：2,200円（税込/送料別途）

購入方法：ウェブサイト <https://www.jagat.or.jp/archives/75705> より

発行：公益社団法人日本印刷技術協会

● 会員誌『JAGAT info』とは

JAGAT会員向けの月刊専門誌です。創刊1970年、通巻586号（2020年6月号時点）、毎号60～70頁。グラフィックアーツに関する技術・経営・メディアのレポートおよび情報、コラムなどから誌面を構成。詳しくは<https://www.jagat.or.jp/magazine>

●公益社団法人日本印刷技術協会とは

公益社団法人日本印刷技術協会（Japan Association of Graphic Arts Technology : JAGAT）は、印刷に関する技術の開発・向上により、印刷および関連産業の発展、貢献を目的として1967年に創立しました。

【リリース・内容に関するお問い合わせ】

〒166-8539 東京都杉並区和田 1-29-11

公益社団法人日本印刷技術協会 研究調査部

TEL 03-3384-3113 FAX 03-3384-3168